

(報告)

# イギリスにおけるスクールカウンセラーの働き

## — ケアハーディ小学校視察報告 —

人文学部助手 本 徳 勇 気

### I. はじめに

2017年3月22日から3月28日までイギリス、ロンドンを訪問する機会を得た。その際、ロンドンの小学校視察でスクールカウンセラー（以下、SC）にインタビューをする機会を持ち、イギリスのSCが小学校でどのように働いているのか、日本のSCと比較してどのような違いがあるのかを知ることが出来た。そこで本稿では、イギリスで見たSCの現地における活躍を紹介する。

### II. ケアハーディ小学校の概要および視察内容

#### 1. ケアハーディ小学校の概要

イギリスにおいて、小学校のスクールカウンセリングがどのように行われているか、その実態を知るため2017年3月23日に小学校の視察を行った。視察訪問した小学校は、ケアハーディ小学校 (Keir Hardie Primary School) である。ケアハーディ小学校は、学校評価制度である Ofsted (2012) によると、イングランドのロンドン東部にあるロンドン自治区の一つであるニューアム・ロンドン自治区のコミュニティ・スクールで、児童数は400名程度で、平均的な規模の学校より大きい。児童の大多数は主に黒人アフリカ系および東ヨーロッパの白人で、教育の質は「良い」とされている。

ケアハーディ小学校では、学校見学、授業参観、SCへのインタビューを行った。

#### 2. 学校見学・授業参観

小学校の建物は日本の小学校と異なり、塀がバリケードのような鉄でできている。警備員に入口で携帯の電源を切るように言われ、IDカードを作るために名前と所属を機械に入力させられるなど、セキュリティがしっかりしており、少し危険な地域であるような印象を受けた。

子どもたちは、すれ違いざまに元気に挨拶をする児童と、不思議そうな目で見てくる児童がいた。外部の人間に対して、拒否的ではないが、程よい距離を保っていた。教師は元気が良く、リアクションを大きくして授業を展

開するなど、普段、筆者がSCとして勤務している小学校の教師とあまり違いを感じなかった。

#### 3. SCへのインタビュー

ケアハーディ小学校のSCであるギタ・ラクラン氏 (Gita Lakhlan) にインタビューを行った。

ラクラン氏は、25年間教師をした後、SCとしてケアハーディ小学校に勤務している。パーソンセンタード・アプローチをオリエンテーションとするカウンセラーであり、とても熱心に児童と関わっているようで、教師からの信頼も厚いようである。お会いしたのは、児童とのカウンセリングが終わった勤務後で、施設案内も含めて15:00~17:15の長時間であったが、快くインタビューに答えてくれた。

### III. Gita Lakhlan 氏インタビュー抄録

1. 訪問日時：2017年3月23日
2. 訪問先担当者：Gita Lakhlan 氏 (ケアハーディ小学校SC)
3. 聴取事項：SCの働きについて

「Q」は筆者の質問、「A」はラクラン氏の回答、適宜表現を加筆・修正している。

#### 1) 相談の対象と内容

Q：ケアハーディ小学校において、SCはどのような働き方をしていますか。

A：粘土やドールやパペット、フィギア、お砂、お絵かきを使って10歳以下の子をカウンセリングしています。担当しているのは教員が手を焼いている子で、家が火事で洪水の被害にあった男子です。最初のセッションで洗面所を見て飛び降りようとしてしました。行動面で問題があったため、校長や教師が学校から追い出そうとしていましたが、カウンセリングで大人しくなりました。

1日に5名の子供と会い、45分間、殆どが遊んだり話をしたりして過ごします。他には、作品を作らせてその配置の仕方を見て、例えば家族と自分が作品の左に居て、敵が真ん中の食料を取り囲んで食べ

ようとしている物であれば「彼女は母親の愛情が足りないと感じていたのではないか」とアセスメントをします。

また母親が薬物中毒で、里親に預けられて転校してきた女兒のカウンセリングでは、お母さんがその子を見きれないという状態でした。子どもは心の中ではそれを分かっているけど、自分の中で整理しきれず抑え込んでいるようでした。話を聞く中で「彼女の猫だけが彼女を生きているって感じさせてくれる」ということが分かり、その話を詳しく聞いていく内に、随分と調子が良くなるようなこともありました。

Q：子どものカウンセリング以外はどのような働きをしていますか。例えば、保護者の面接はどのように行っていますか。

A：保護者の面接はしません。ただ、子どものカウンセリングをする場合、最初にカウンセリングを始める許可を保護者に得る必要があります。たまに許可をくれない保護者もいて、つまり親は子どもが家族の事をカウンセラーに話すことを恐れているのだと思います。その場合は、保護者に「ここで話した事は外に漏れることは無い」ということ説明します。ただし Child Protection（虐待やネグレクトで子どもに重大な危害が生じる、又は生じる恐れのあると認められる子どもへの保護のプロセス）に触れること以外ですが。もし Child Protection に触れることがあれば校長先生に報告しなくてははいけません。

Q：教師からの相談はどうしていますか。コンサルテーションはどのように行っていますか。

A：昔は私が教室に行って、子どもの様子から教師と意見を交換して、アドバイスすることはありました。例えば、暴力を振るう子どもがいて、教師が対応に困っている場合、子どもが腹を立てて人を叩くことは「役に立たないということを教える」というアドバイスをすることや、「暴力を振るう子」という評価をすることを控えるようにアドバイスしていました。しかし、教師が子どもの行動を管理するのをサポートするのは私の仕事ではありません。それは、Learning Mentor（学習環境を整える支援者）の仕事だからです。

それに、この学校の教師は、子どもたちを正しく見てくれているのでコンサルテーションは必要がありません。先生たちはその子の問題が感情の問題なのか、そうでないのか分かっているのです。

ただ、先生達は時々ここに来て、自分の問題について相談に来ることがあります。ここで相談してハッピーになるので、相談できることをありがたい

と思ってくれています。問題の内容によっては外部の機関を紹介することはありますが、ランチタイムの2、30分で解決するのであれば私が話を聞きます。

Q：不登校の対策はどうしていますか。

A：それはSCの仕事ではなく、Education Welfare Officers（教育福祉官）が外部機関として処理します。学校は教育福祉官を呼び出します。

## 2) 相談以外の活動

Q：教師に対して校内研修はしていますか。

A：先生達に研修はしていません。教師のトレーニングの一部に発達心理学に関するものがあるって、先生達は子どもの感情面や精神面の成長について理解しています。フロイトやユングについて話をしても、教師はカウンセラー的なことはしていないので研修を受ける必要がありません。ただ、Marshall RosenbergのNonviolent Communication（非暴力コミュニケーション）は教師に教えると効果があります。思考で判断や批判などをするのではなく、自分と相手のハートの声に耳を傾けて、今の感情や要求を明確にしていくことで、心から共感的にやりとりすることが出来るので、教師が子どもたちと関わる上で役に立ちます。

Q：ケースカンファレンスについてはどうでしょうか。私の勤めている中学校では、一人の子どもの支援を検討するために、学校の関係者もしくは他機関の関係者と検討会を開く際にカウンセリングを担当している者としてSCが参加することがあります。

A：私はカウンセラーとしてだけで働いているのでケースカンファレンスに参加することはありません。学校でカンファレンスは行われていて、そこには教育心理学者が参加しています。コーディネーターからレポートを書くように言われたら書きますが、出席することはありません。何故なら私の仕事は守秘義務があるから、もし私に「カウンセリングで何があったのか」と聞かれても、子どもに関する細かいことは守秘義務と子どもとの信頼関係の為に喋りません。もし私が喋ってしまうと子どもが安全じゃないと思ってここに来なくなってしまうでしょ。以前、ソーシャルワーカーと仕事をしたときに、セッションの内容をソーシャルワーカーが保護者に喋ってしまったことがありました。保護者は怒って子どもを叩いたのです。どれを話していいのか、話してはいけないのか、ピックアップの話は支援者の経験によりますよね。私はそういうトレーニングをしてきたけど、トレーニングをしていないソーシャルワーカー

カーもいるのです。

### 3) システム

Q：どのような経路で相談につながりますか。私の勤務している中学校の場合だと、教師からの紹介や保護者が子どもを心配して連れてくることが多いのですが。

A：教師が子どもを見ていて、子どもに助けが必要と思うと特別支援コーディネーターのところに話を持ちかけます。特別支援コーディネーターが子どもと話をし、カウンセリングが必要か、Learning Mentorが必要なのか、問題が大きすぎて他の施設が必要なのか判断して、カウンセリングが必要であれば面接の設定をします。

紹介の用紙は私が作っている物があるので、それに特別支援コーディネーターが記入します。そして保護者がサインして、成育歴などを記入します。私は週2回しかこの小学校に居ないので、そのような時間はありません。かつて私は「3回セッションしたらカウンセリングは終わり」と学校に言われていましたが、それではきちんとしたケアができないため、数年かけて学校に説明して、今は子どものカウンセリングという役割だけを担っています。子どもが感情を出すには時間がかかりますし、感情の安定を育てるのにもかなりの時間がかかるためです。

Q：私の所属するSCの部会では、SCは3～6年で異動します。この小学校ではどうですか。教師も同じように異動があります。

A：そのような短い期間で異動することはありません。学校でカウンセリングすることは、結婚みたいなもので、関係性を作っていくには時間がかかりますから。色々な学校に行くのは問題で、例えばセッション中に面接室に教師が入ってくることは問題ですよね。そういったことを異動がある度に伝えたりしなくてはなりません。教師は10年たったなら異動するか、しないか、考えるというシステムはあります。ちなみに今の校長は12年間居て、スタッフや地域からの信頼が厚く、みんなに安心感を与えています。

Q：多職種との連携についてはどうでしょうか。

A：Behavior Support Service（行動問題支援サービス）というやり方がイギリスではあります。外部のグループにサイコセラピストが居て、例えば教室での観察を通して、特別な支援が必要な子どもをアセスメントして、教師に様々なアドバイスをしています。

### 4) 仕事を続けるためのサポートや訓練

Q：仕事における心配事はどのように解消していますか。

A：Child Protectionの上級マネージャーにも相談しますが、まず、私のケースをスーパービジョンに持ち込み、ケースを報告する必要があるかどうかを検討します。スーパーバイザーは力動的な精神分析家をお願いしています。

また私はPerson-Centered Approachのカウンセラーということもあって、エンカウンターグループの一つに定期的なセルフケアセッションがあるので、自分の精神的な健康を大事にするためにセッションに参加しています。

Q：心理職としての訓練は何をしていますか。

A：SCの仕事は継続的な専門能力の開発が非常に重要です。エンカウンターグループに参加することで専門職の訓練としています。またトラウマや自傷行為など、自分の興味のある科目を選び、受講しています。私は心理学者や精神科医ではないので心理検査はしませんが、似通った感じの検査をします。

### 5) その他

Q：学校でカウンセリングをするにあたって大切にしていることは何ですか。

A：カウンセリングサービスが無くても、教師と子どもで学校が成り立っていくようになるのが私の願いです。良くなるっていうのが、もし私がこの学校を去った時に、どうやってカウンセリングサービスが学校の中で機能しているのか皆が理解することです。学校1つが人のようなもので、人間が成長することに関して色々な要素が必要です。人間の内面があって、色々なパーツがあって学校が成り立っています。

もうひとつ私が大切だと思っていることは、子どもたちが作ったものは箱に入れて別の部屋に持って行くことです。子どもたちを大切にしているということにつながりますからね。

## IV. まとめ

イギリスの教育は地域によって、また公立か私立かによって仕組みが異なり、SCの役割に関しても異なるため、単純に比較することはできないが、イギリスのSCの働きについて、共通点や相違点を確認することができた。

### 1. SCの役割と学校のニーズ

文部科学省初等中等教育局児童生徒課（2015）による

と、SCの役割は、①個々の児童生徒へのカウンセリング、②児童生徒への対応に関し、保護者・教職員への助言、③事件・事故等の緊急対応における児童生徒等の心のケア、④教職員等に対する児童生徒へのカウンセリングマインドに関する研修活動、⑤教員との協力の下、子供の心理的問題への予防的対応（ストレスチェック等）などが挙げられている。SCはその役割を担う専門職として所属する小中学校で勤務することになり、①から⑤の役割を果たすことになる。ただ、学校によってはニーズがなかったり、SCによっては役割を果たせない場合もあると考えられる。

ラクラニ氏はどのような役割を果たして、学校からどのようなニーズがあるのだろうか。インタビューの内容からSCは何かしらの問題を抱えながらも登校している児童の内、感情表現に困難のある子どものセラピーを担当していた。不登校状態にある児童は「Education Welfare Officers」が、暴力をふるう児童は「Learning Mentor」が担当するなど明確な役割分担が行われていた。学校はSCにセラピーを行ってもらい、それによって感情の問題を解決して欲しいといったニーズがあるのではないかと考えられる。文部科学省の挙げている役割に当てはめると、①個々の児童生徒へのカウンセリングのウェイトが高く②から⑤に関してはほとんど役割を担っていない、もしくは筆者が質問していないため不明であるが、多くの相違点が見られた。

## 2. 心理職としての専門性

学校でカウンセリングを行う際に「守秘義務」をどのように守っていくのか、その難しさについて、ラクラニ氏のインタビューでも話題になった。学校臨床心理士(SC)のためのガイドライン(1995)では「狭義の守秘義務を前面に主張するのではなく、学校全体で守秘義務の大切さを考えていく方向を念頭におくこと」と記されており、学校でカウンセリングをする際には、守秘義務について常に意識する必要がある、SCとして仕事を進める上で大事にしている部分である。この点についてはイギリスのSCにおいても共通であると言える。また、仕事を続けるためのサポートや訓練についても、多くの心理職やスーパーバイザーに相談して指導を受けること、トレーニングのために研修に行くことや、セルフ

マネージメントを意識することなど専門性に関しては多くの共通点が見られた。

## 3. イギリスの心理職に対する誤解

丹野(2006)によるとイギリスで臨床心理学は、アカデミック心理学やその他の関連領域と共同研究を実施しており、その際、エビデンスに基づく研究を重視し、認知行動療法の実証的効果研究が盛んである。また小堀ら(2009)はイギリスでは臨床心理士の人手不足であるという事情を踏まえ、イングランドにおいて認知行動療法セラピストを1万人養成する計画があると報告している。このことから、イギリスは認知行動療法というイメージが強いが、今回の視察を通して、認知行動療法だけでなく、他の心理療法も存在しており、評価されているということを知った。

## 謝辞

インタビューに応じてくださった、ギタ・ラクラニ氏に深く感謝いたします。また、ラクラニ氏を紹介していただいたノッティンガム大学のデイビット・マーフィー先生、当時ノッティンガム大学で在外研究中だった本山智敬先生、今回のイギリス視察の機会を与えていただきました、研究チームの先生方に感謝申し上げます。

## 文献

- 学校臨床心理士ワーキンググループ(1995). 学校臨床心理士のためのガイドライン. 学校臨床心理士ワーキンググループ.
- 小堀修清・水栄司・伊豫雅臣(2009). イギリスの認知行動療法セラピストを7年で10,000人養成する計画. 千葉医学, 85, 93-95.
- 文部科学省初等中等教育局児童生徒課(2015). 学校における教育相談に関する資料.
- Ofsted(2012). Keir Hardie Primary School. (2019年9月23日取得)  
<https://keirhardie.newham.sch.uk/wp-content/uploads/2017/02/ofsted-2012.pdf>.
- 丹野義彦(2006). 認知行動アプローチと臨床心理学—イギリスで学んだこと. 金剛出版.

School report



# Keir Hardie Primary School

Edwin Street , Canning Town, London , E16 1PZ

**Inspection dates** 6–7 December, 2012

<b>Overall effectiveness</b>	Previous inspection:	Satisfactory	3
	This inspection:	<b>Good</b>	<b>2</b>
Achievement of pupils		Good	2
Quality of teaching		Good	2
Behaviour and safety of pupils		Good	2
Leadership and management		Good	2

## Summary of key findings for parents and pupils

### This is a good school.

- Most pupils make good progress in English and mathematics.
- Teaching is mostly good with some exceptional teaching in the Early Years Foundation Stage and Year 3.
- In the majority of the teaching, planning is effective in meeting individual needs. There is a strong emphasis on developing pupils' reading skills.
- Teachers and support staff offer great care and guidance to pupils. Consequently, pupils are well behaved and confident, and say they feel safe.
- Pupils' books are marked regularly and pupils comment on the feedback given.
- Pupils' attendance is above average; they are highly engaged in lessons and actively participate in class or group discussions.
- The headteacher provides outstanding leadership. She rigorously monitors the quality of teaching and provides effective support and training for teachers.
- Leaders including the governing body have high expectations for all pupils and provide effective challenge to successfully drive improvement in teaching and achievement.

### It is not yet an outstanding school because

- Some pupils make less progress than they should because of inconsistency in checking the progress of different groups of learners and because pupils join the school at different points during the year.
- Some teaching, especially in Key Stage 2, does not fully address the needs of individuals.

## Information about this inspection

- The inspection team observed 22 lessons, of which two were joint observations with the senior leadership team.
- Meetings were held with the local authority's Achievement Partner, two governing body members and staff.
- Inspectors considered parents' and carers' views of the school through discussions and the five responses to the online questionnaire (Parent View). Inspectors also interviewed pupils to find out their opinion of the school. They also ate lunch with the pupils and observed pupils' behaviour around the school.
- The team examined a number of documents, including the school's own data on pupils' current progress and monitoring documentation. They looked at pupils' work, behaviour records and attendance figures.

## Inspection team

Janice Williams, Lead inspector	Additional inspector
John Sweet	Additional inspector
Gill Walley	Additional inspector

## Full report

### Information about this school

- The school is a larger than the average-sized primary school.
- The number of pupils known to be eligible for the pupil premium is above the national average.
- A large majority of pupils are from ethnic groups other than White British, mainly of Black African and White East European heritage.
- The proportion of pupils who speak English as an additional language is well above the national average.
- The proportion of pupils supported at school action is above the national average.
- The proportion of pupils supported by school action plus or with a statement of special educational needs is below average.
- The headteacher was appointed in December 2011 after acting for 9 months.
- The school is in a regeneration area of Canning Town and pupils join the school at different points during the school year.
- The school meets the current government floor standards, which set the minimum expectations for pupils' attainment and progress.
- The school has achieved the Sportsmark, inclusion Quality Mark 2012 (IQM), Artsmark, Healthy School Sustainable Travel Plan Accreditation, and Fairtrade Status.
- There are plans to build a new school on part of the existing site; this is due to open after 2014.
- The school does not use alternative provision.

### What does the school need to do to improve further?

- Improve the quality of teaching from good to outstanding, particularly in Key Stage 2, by ensuring that teachers:
  - examine pupils' prior knowledge and effectively order activities to further develop and extend pupils' knowledge and understanding
  - check pupils' understanding regularly and respond effectively by adapting teaching and learning strategies when necessary, and provide enough opportunities for pupils to reflect and explore different solutions to challenging questions.
- Accelerate all pupils' achievement by:
  - improving the tracking systems to monitor all groups of pupils so that they make accelerated progress.

## Inspection judgements

### The achievement of pupils is good

- Although many pupils join and leave the school at different points during the school year, a notable feature of pupils' good achievement is the good and sometimes excellent progress that pupils make in English and mathematics.
- Children enter the Nursery with skills that are well below expectations for their ages in communication and language skills and physical development. Children make good progress in Nursery. A large majority of the children who start in the Nursery do not continue into Reception.
- Children enter Reception with similar skills as they did in Nursery and their attainment is below age-related expectations. They also make good progress and, at the end of the Early Years Foundation Stage, their attainment is broadly average, with some children attaining above.
- In Key Stage 1, pupils make good progress in reading, writing and mathematics. In Year 1, pupils attain higher than the national average in the Phonics (blending of sounds) Screening Test. Year 2 pupils' attainment in writing and mathematics is similar to the national average but their attainment in reading is slightly lower.
- Over the last two years, pupils make rapid progress in English and mathematics at the end of Key Stage 2 because of very well-tailored support programmes. As a result, all groups make good-to-excellent progress and more pupils achieve higher levels in mathematics. In the 2012 provisional test results, Year 6 attainment in English and mathematics was above the national average.
- Pupils in the current Years 3 to 6 classes make good progress given their low starting points in Reception. However, some pupils from White British, White East European and African backgrounds make variable progress in writing or mathematics because they join the school at different points during the school year.
- Disabled pupils and those with special educational needs make mostly good progress; however, in the current Year 6, a few are making slower progress in mathematics. Pupils in receipt of the premium funding make mostly good to outstanding progress throughout the school because of excellent guidance and support that they receive.

### The quality of teaching is good

- The quality of teaching is mostly good, although there are some variations in upper parts of Key Stage 2. There is some outstanding teaching in the Early Years Foundation Stage and Year 3.
- In some lessons, teachers do not examine pupils' prior knowledge and order activities accordingly to accelerate pupils' learning. As a result, some pupils can follow a pattern or steps to a solution but cannot explain what they have learnt or how to apply some of the skills in other subject areas.
- In an outstanding Reception lesson, children used talk partners to identify the characters in the story and they were challenged to write a list of how 'Santa' travelled through the snow. As a result of very good language modelling and effective questioning, children in the Early Years Foundation Stage make exceptional progress because they are able to repeat new words and use them accurately.
- In Key Stage 1, the quality of lessons seen was mostly good in English and mathematics. The strength in these lessons is the effective use of questioning and providing enough time for pupils to reflect, discuss and respond to ideas. Pupils also make good progress because of the quality feedback teachers give in lessons, and the questions asked make pupils examine either their feelings or different ways of solving a problem.
- In upper parts of Key Stage 2, some teachers do not regularly check pupils' understanding and, in some instances, they do not offer effective support to ensure that pupils' subject knowledge is

secure before moving to more challenging concepts.

- There is a strong emphasis on reading throughout the school. Teaching assistants and teachers effectively deliver the blending of sounds sessions. Consequently, most disabled pupils, those with special educational needs and those who speak English as an additional language make good progress in reading sessions.
- Pupils' books are marked regularly; the work is matched to pupils' abilities, and pupils comment on the feedback given. However, there are some inconsistencies in the quality of feedback.

### **The behaviour and safety of pupils are good**

- Pupils' behaviour and safety are good and, where lessons are particularly well planned, behaviour is often outstanding.
- Around the school, behaviour is also good. There is an inclusive community where pupils are involved in different aspects of the school and have various roles and responsibilities. There are Green Ambassadors who grow their own food in the school, and the school chef uses some of the foods to prepare meals at lunchtime.
- During lunch, there are lunchtime helpers. Pupils proudly hand out cutlery, direct peers in the disposal of unwanted food and ensure that used plates are stacked appropriately. Pupils have other roles including the Fair Trade Steering group, class buddies and cloakroom monitors.
- There are also prefects and school council representatives who help to maintain discipline, pass on pupils' opinions to staff and contribute to some decisions that are made. These roles enhance pupils' confidence and self-esteem.
- There is a strong sense of ownership where all pupils feel valued; this is evident at the front of the school's office where there is a colourful display of pupils' vision for the school.
- In lessons, pupils work well in group and peer activities and actively engage in their learning. Pupils are caring and supportive. For example, in a mathematics lesson, one pupil passionately debated his wrong solution, while the other pupil patiently tried to explain why his solution was inaccurate.
- Pupils are aware of the different types of bullying and how to keep themselves safe. Their knowledge is reinforced through the annual 'Anti-Bullying Week' which includes cyber-bullying and other types of bullying. They produced anti-bullying leaflets which were shared with their peers and parents and carers.
- Most of the few parents and carers interviewed, and those who responded to Parent View, thought that the school was safe and incidences of bullying were uncommon.

### **The leadership and management are good**

- The new headteacher's leadership is outstanding. She thoroughly monitors the quality of teaching in the school, and teachers and teaching assistants are given regular feedback on the strengths of their lessons or small group sessions, and areas for improvement are clearly identified. The grade given to teachers and teaching assistants about the quality of their teaching not only relates to the lessons seen, but also evaluates the quality of feedback given to pupils, the work in pupils' books and usefulness of the displays for learning. As a result, teaching has improved rapidly with some exemplar lessons in the Early Years Foundation Stage and Year 3.
- The headteacher has worked closely with the local authority to accurately evaluate the quality of teaching in the school and gain additional support and training for all staff. As a result, there is effective training for teachers and teaching assistants; all staff are involved in discussions related

to pupils' attainment and improving pupils' reading skills.

- To date, the strong emphasis on monitoring teaching has been more effective in fully securing improvement in the Early Years Foundation Stage and in Key Stage 1, than in Key Stage 2, where some inconsistencies remain.
- All leaders communicate high expectations and ambition. The English and mathematics leaders offer excellent support programmes and extra tuition for pupils, and this has increased pupils' rates of progress at the end of Key Stage 2.
- The other subject leaders are passionate about the 'creative curriculum' and constantly evaluate the effectiveness of the curriculum in meeting pupils' needs. The curriculum is linked by many interesting topics from art, design and technology, science, and information and communication technology (ICT). Pupils are taken on trips to places that relate to a topic. Consequently, pupils are often engaged in their learning and contribute positively to discussions.
- Leaders ensure that the curriculum promotes pupils' spiritual, moral, social and cultural awareness by introducing opportunities for critical thinking or higher-order thinking in lessons. As a result, pupils are now becoming more confident in expressing their ideas and lessons are more engaging as pupils contribute to their own learning. Pupils' feelings and creativity are also expressed in the numerous attractive art displays around the school.
- Leaders' evaluation of the school is mostly accurate. Leaders also hold teachers to account for pupils making at least good progress. However, progress tracking procedures do not provide a sharp enough focus on the progress made by different groups of learners.
- The school has spent some of the pupil premium funding in effectively supporting pupils through small group sessions to develop literacy and numeracy skills. As a result, pupils' reading skills have improved through the school and pupils are attaining higher than the national average in the Year 1 tests. The funding is also used to provide additional tuition for Key Stage 2 pupil premium pupils. Consequently, last year, the Year 6 pupil premium pupils made outstanding progress in English and mathematics.

■ **The governance of the school:**

The governing body is very supportive and continuously evaluates the school's work with the aim of ensuring that pupils make at least good or better progress. Governors use questionnaires to obtain pupils' opinions about the quality of teaching they receive and their engagement in lessons. They are aware of their roles and responsibilities; some can analyse data effectively and they all know how the school compares to other schools nationally. Governors manage the budget effectively. They have ensured that the pupil premium funding is spent appropriately. They monitor its impact carefully to ensure that these pupils make good to outstanding progress. Governors are aware that some teaching still requires improvement and have invested in a thorough support and training programme for teachers. They effectively match the systems for performance management for both teachers and leaders to pupils' achievement. Governors have ensured that all safeguarding requirements are fully met and effective.

**What inspection judgements mean**

<b>School</b>		
<b>Grade</b>	<b>Judgement</b>	<b>Description</b>
Grade 1	Outstanding	An outstanding school is highly effective in delivering outcomes that provide exceptionally well for all its pupils' needs. This ensures that pupils are very well equipped for the next stage of their education, training or employment.
Grade 2	Good	A good school is effective in delivering outcomes that provide well for all its pupils' needs. Pupils are well prepared for the next stage of their education, training or employment.
Grade 3	Requires improvement	A school that requires improvement is not yet a good school, but it is not inadequate. This school will receive a full inspection within 24 months from the date of this inspection.
Grade 4	Inadequate	<p>A school that has serious weaknesses is inadequate overall and requires significant improvement but leadership and management are judged to be Grade 3 or better. This school will receive regular monitoring by Ofsted inspectors.</p> <p>A school that requires special measures is one where the school is failing to give its pupils an acceptable standard of education and the school's leaders, managers or governors have not demonstrated that they have the capacity to secure the necessary improvement in the school. This school will receive regular monitoring by Ofsted inspectors.</p>

### School details

<b>Unique reference number</b>	102725
<b>Local authority</b>	Newham
<b>Inspection number</b>	400566

This inspection of the school was carried out under section 5 of the Education Act 2005.

<b>Type of school</b>	Primary
<b>School category</b>	Community
<b>Age range of pupils</b>	3–11
<b>Gender of pupils</b>	Mixed
<b>Number of pupils on the school roll</b>	366
<b>Appropriate authority</b>	The governing body
<b>Chair</b>	Gordon Miller
<b>Headteacher</b>	Violet Otieno
<b>Date of previous school inspection</b>	10–11 February 2010
<b>Telephone number</b>	020 7476 1284
<b>Fax number</b>	020 7476 1262
<b>Email address</b>	info@keirhardie.newham.sch.uk

Any complaints about the inspection or the report should be made following the procedures set out in the guidance 'raising concerns and making complaints about Ofsted', which is available from Ofsted's website: [www.ofsted.gov.uk](http://www.ofsted.gov.uk). If you would like Ofsted to send you a copy of the guidance, please telephone 0300 123 4234, or email [enquiries@ofsted.gov.uk](mailto:enquiries@ofsted.gov.uk).



You can use Parent View to give Ofsted your opinion on your child's school. Ofsted will use the information parents and carers provide when deciding which schools to inspect and when and as part of the inspection.

You can also use Parent View to find out what other parents and carers think about schools in England. You can visit [www.parentview.ofsted.gov.uk](http://www.parentview.ofsted.gov.uk), or look for the link on the main Ofsted website: [www.ofsted.gov.uk](http://www.ofsted.gov.uk)

The Office for Standards in Education, Children's Services and Skills (Ofsted) regulates and inspects to achieve excellence in the care of children and young people, and in education and skills for learners of all ages. It regulates and inspects childcare and children's social care, and inspects the Children and Family Court Advisory Support Service (Cafcass), schools, colleges, initial teacher training, work-based learning and skills training, adult and community learning, and education and training in prisons and other secure establishments. It assesses council children's services, and inspects services for looked after children, safeguarding and child protection.

Further copies of this report are obtainable from the school. Under the Education Act 2005, the school must provide a copy of this report free of charge to certain categories of people. A charge not exceeding the full cost of reproduction may be made for any other copies supplied.

If you would like a copy of this document in a different format, such as large print or Braille, please telephone 0300 123 4234, or email [enquiries@ofsted.gov.uk](mailto:enquiries@ofsted.gov.uk).

You may copy all or parts of this document for non-commercial educational purposes, as long as you give details of the source and date of publication and do not alter the information in any way.

To receive regular email alerts about new publications, including survey reports and school inspection reports, please visit our website and go to 'Subscribe'.

Piccadilly Gate  
Store St  
Manchester  
M1 2WD

T: 0300 123 4234  
Textphone: 0161 618 8524  
E: [enquiries@ofsted.gov.uk](mailto:enquiries@ofsted.gov.uk)  
W: [www.ofsted.gov.uk](http://www.ofsted.gov.uk)

© Crown copyright 2012

